



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 下 祥造

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,601	2.9	△115	—	△64	—	△249	—
25年3月期第2四半期	8,356	△12.7	△762	—	△769	—	△1,492	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △215百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,490百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△12.83	—
25年3月期第2四半期	△76.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,580	15,805	85.1
25年3月期	18,903	16,020	84.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,805百万円 25年3月期 16,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,881	4.5	△375	—	△349	—	△572	—	△29.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月8日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,076,154 株	25年3月期	21,076,154 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,666,526 株	25年3月期	1,666,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	19,409,704 株	25年3月期2Q	19,620,611 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策を背景にした経済成長の期待感から、持ち直しの兆しが見え始めているものの限定的で、世界経済の先行きへの懸念などもあり、不透明な状況が続いております。雇用や所得環境は依然厳しく、原材料価格の高騰に伴う物価上昇不安などで、消費マインドも低迷し未だ自発的な消費段階にまでは達しておりません。

このような状況のもと当社グループは、事業戦略「NEW愛眼プロジェクト」を展開し、店舗のリニューアル、店名ロゴの変更、メガネ一式価格「スマートプライス」の表示による商品演出、マス媒体を活用した広告宣伝などの営業活動を継続してまいりました。また、地域消費者へNEW愛眼を知っていただくため、広告宣伝活動等に積極的に取り組み、主力オリジナルブランドとなった「POCOP」の新型やクールビズ用メガネ「クリアフィット」、釣り用偏光サングラス「ストームライダー」、風呂専用メガネ「FORゆ」、掛け心地重視の国産フレーム「スマートフィット」など、話題性のある新製品を順次市場に投入し、各種メディアへの露出機会を増やしてニッチな市場へも販路が広がり、認知度向上が図られております。店頭では視力補正やカウンセリングは勿論、お客様の様々なライフシーンを演出する「アイスタイリング・サービス」の提案に努め、お客様の購買促進に結び付けております。

店舗に関しては、新規に11店舗を開設し、4店舗を閉鎖しました。また移転を含め既存店38店舗を「NEW愛眼」へリニューアルし、明るく清潔感のあふれる店舗づくりを進めました。

売上については、地域消費者への周知・集客のための廉価をアピールしたセールスの展開によってNEW愛眼が徐々に浸透しはじめ、眼鏡販売着数が各年代で伸びたものの、販売単価が消費者の低価格志向の定着もあり低迷したため、わずかな増加となりました。サングラスの売上は、猛暑の影響で増加し、補聴器もレンタル営業などの効果で増加しました。

利益については、商品構成の見直し、オリジナル品の自動補充システムの運用などで売上総利益率は改善しつつあります。また、賃料交渉による賃借料削減や前期に実施した希望退職募集、固定資産の減損処理などで人件費、減価償却費などが減少したものの、営業基盤強化のための新規出店や改装等を活発に推進し、販売費などのコストが予定を上回りましたので、より一層のコスト削減に取り組む所存です。

海外(中華人民共和国)におきましては、地域密着の営業活動を展開したものの販売環境が厳しく、また1店舗の閉鎖もあり売上は減少しました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は8,601百万円(前年同四半期比2.9%増)となり、営業損失は115百万円(前年同四半期は営業損失762百万円)、経常損失は64百万円(前年同四半期は経常損失769百万円)、また特別損失として減損損失140百万円を計上したことにより、四半期純損失は249百万円(前年同四半期は四半期純損失1,492百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は18,580百万円、負債合計は2,774百万円、純資産合計は15,805百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が108百万円減少し、純資産合計が215百万円減少した結果、自己資本比率は85.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当社グループの資金状況は、下記の通りです。

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、1,806百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは△13百万円(前年同四半期は△1,212百万円)となりました。

この現況に至った主な要因は、税金等調整前四半期純損失△200百万円、たな卸資産の増減額△181百万円、売上債権の増減額227百万円、減損損失140百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動におけるキャッシュ・フローは197百万円(前年同四半期は169百万円)となりました。

この現況に至った主な要因は、定期預金の預入による支出△407百万円、定期預金の払戻による収入1,009百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは△35百万円(前年同四半期は377百万円)となりました。

この現況に至った主な要因は、長期借入金の返済による支出△35百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については平成25年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,117	4,778
受取手形及び売掛金	948	722
商品及び製品	2,418	2,605
原材料及び貯蔵品	16	16
その他	227	181
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	8,716	8,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,895	6,905
減価償却累計額	△5,533	△5,583
建物及び構築物（純額）	1,361	1,322
土地	2,075	2,069
その他	2,425	2,535
減価償却累計額	△2,417	△2,377
その他（純額）	7	158
有形固定資産合計	3,444	3,550
無形固定資産	2	67
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,091	4,157
投資有価証券	1,490	1,506
長期預金	100	—
その他	1,069	1,016
貸倒引当金	△11	△9
投資その他の資産合計	6,740	6,671
固定資産合計	10,187	10,289
資産合計	18,903	18,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	770	766
1年内返済予定の長期借入金	65	60
未払法人税等	118	76
賞与引当金	50	17
その他	923	902
流動負債合計	1,927	1,823
固定負債		
長期借入金	405	375
繰延税金負債	48	52
再評価に係る繰延税金負債	7	7
資産除去債務	348	358
その他	145	158
固定負債合計	955	951
負債合計	2,882	2,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	7,066	6,817
自己株式	△1,050	△1,050
株主資本合計	18,456	18,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	109
土地再評価差額金	△2,534	△2,534
為替換算調整勘定	7	22
その他の包括利益累計額合計	△2,435	△2,402
純資産合計	16,020	15,805
負債純資産合計	18,903	18,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	8,356	8,601
売上原価	2,803	2,797
売上総利益	5,552	5,803
販売費及び一般管理費	6,315	5,918
営業損失(△)	△762	△115
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	4	5
受取家賃	18	21
負ののれん償却額	1	—
物品売却益	—	16
その他	27	38
営業外収益合計	62	93
営業外費用		
支払利息	1	2
固定資産除却損	37	18
賃貸費用	15	17
その他	15	4
営業外費用合計	69	43
経常損失(△)	△769	△64
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
投資有価証券評価損	5	0
減損損失	162	140
特別退職金	502	—
特別損失合計	670	140
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,440	△200
法人税、住民税及び事業税	52	49
法人税等調整額	△0	△1
法人税等合計	52	48
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,492	△249
四半期純損失(△)	△1,492	△249

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,492	△249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	18
為替換算調整勘定	1	15
その他の包括利益合計	2	33
四半期包括利益	△1,490	△215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,490	△215

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,440	△200
減価償却費	175	96
特別退職金	502	—
減損損失	162	140
負ののれん償却額	△1	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△32
売上債権の増減額(△は増加)	55	227
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34	△181
仕入債務の増減額(△は減少)	△54	△8
その他	△34	30
小計	△666	72
特別退職金の支払額	△454	—
利息及び配当金の受取額	14	16
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△105	△102
法人税等の還付額	1	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,212	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△222	△407
定期預金の払戻による収入	511	1,009
有形固定資産の取得による支出	△167	△287
有形固定資産の売却による収入	—	11
投資有価証券の取得による支出	△519	△34
投資有価証券の売却による収入	200	45
その他	368	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	169	197
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	—	△35
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△83	△0
配当金の支払額	△38	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	377	△35
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△664	152
現金及び現金同等物の期首残高	3,144	1,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,480	1,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。